

モバイル市場の公正競争促進に関する検討会  
第2回会合事務局説明資料  
～MVNOに対するアンケート調査の結果～

---

平成30年1月15日  
事務局

MVNO※に対して、平成29年12月5日から19日にかけて、アンケート調査を実施。主な要望や意見は以下のとおり。

- サブブランド/関連MVNOによるMNOと同等の品質で廉価なプランや大規模な営業活動については検証が必要
- 接続料の当年度精算の原則化/基準明確化を希望
- キャリアのフィルタリングに掛からないキャリアメール相当のサービスの実現を希望
- 緊急通報時GPS情報取得機能、緊急速報（Jアラート等）機能のMVNOでの実現を希望
- 音声定額サービスの卸提供を希望
- BWA設備を第二種指定電気通信設備として指定、接続料を設定すべき
- 一部の端末では依然としてテザリングが不可能
- 期間拘束の自動更新はユーザーの移行機会を阻害しており問題
- 中古スマートフォン端末市場の活性化はユーザ選択肢を拡大させ、MVNO事業に好影響
- 端末代金の値引き・キャッシュバックはユーザーの流動性を阻害

※ MVNO委員会に所属するMVNO、契約数3万以上のMVNO（MVNO委員会所属MVNOを除く）等計75社にメールで送付。61社から回答を得た。

# MVNOに対するアンケート調査の結果

## ○ 接続料の算定・精算やMNOとの協議に関する課題

## ○ MNOと同様には提供できないサービス・機能等

項目	回答の内容
接続料関連	• 接続料が高い。MNOの提示価格が不透明。トラフィック増に比して接続料の低廉化幅が小さい
	• 接続料の確定が遅く予見性の点から課題
	• MNO網の自網内での折り返し通信が接続料算定の需要に含まれていないのではないかと懸念
	• 接続料の値下げ分が他の料金（SIMカード料金等）へ転嫁されることを懸念
	• 接続料算定に「将来原価方式」を導入すべき
当年度精算関連	• 当年度精算の原則化を希望
	• 当年度精算の基準の明確化を希望
MNOとの協議関連	• 各種申込み等のスケジュールに制約がある
	• 網改造料が高額
	• 帯域幅変更の工事費が高額、柔軟な帯域幅変更を希望
	• 算定根拠等の情報開示が不十分、協議において回答が遅い
上記以外の項目	• 関連MVNO優遇の有無について透明化を希望
	• 卸価格と小売価格の関係について検証が必要
	• SIMカードの所有権はMVNOに帰属すべき

項目	回答の内容
音声サービス関連	• 音声定額サービス
	• 音声接続
	• 当月請求（MVNOでは請求が1ヶ月遅れる）
	• タイムラグのないMNP転出時の番号払い出し
ネットワークや端末の機能関連	• 通信品質
	• キャリアメール相当のメールサービス
	• 緊急通報時GPS情報取得機能
	• 緊急速報（Jアラート等）
	• eSIM、セルラーLPWA、独自SIM
	• MNOアカウントと連携した年齢認証機能
	• 自動活性化開通方式（初回の通信を契機に課金を開始する方式）
上記以外の項目	• リアルタイムなデータ通信量に関する情報提供
	• 企業規模を活かした割引、固定とのセット割
	• iPhoneの提供
	• 海外データ定額ローミング
	• MNO固有コンテンツ

## ○ BWA設備・ネットワーク

項目	回答の内容
BWA設備の二種指定化、携帯-BWA間を連携する接続料について	• 二種指定化、接続料化を支持
	• 二種指定化、接続料化することによる値上がりを懸念
	• 従前の接続料と携帯-BWA間を連携する接続料のそれぞれの接続料設定を希望
	• MNO1社との契約で、グループ会社のネットワークも利用可能となる制度整備を希望
グループ内取引の適正性について	• 携帯-BWA間を連携する接続料について、小売価格等との整合性を議論すべき
	• グループ内でネットワークを借りている場合には、その料金の適正化や情報開示が必要
その他	• 携帯-BWA間でキャリアアグリゲーションが行われること自体の適正性について検証が必要
	• モバイルWi-FiルーターでLTEを利用するときの追加料金及び速度制限の撤廃を希望

## ○ 他のMVNOと同様には提供できないサービス・機能等

項目	回答の内容
関連会社MVNOと同様には提供できないサービス・機能等	• MNO並みの品質で廉価なプラン、大規模な営業活動(これらの妥当性を検証すべき)
	• 音声定額プラン等の音声サービス
	• 企業規模を活かした割引
	• iPhoneの提供
上記以外のMVNOと同様には提供できないサービス・機能等	• MNOの契約解除窓口におけるサブブランド/関連MVNOへの乗り換え勧奨
	• 各社固有のコンテンツやアプリケーション
	• パケットカウントフリーサービス
	• HLR/HSSを設置することによるフルMVNOサービス

## ○ テザリングの利用可否

項目	回答の内容
一部端末では利用不可問題を認めず	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の端末で依然として使用できない</li> <li>とくに問題を認識していない</li> </ul>

## ○ 期間拘束の自動更新のMVNOへの影響/必要な対応

項目	回答の内容
直ちに問題がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>移行機会を阻害している</li> </ul>
問題のある可能性があり、注視が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーへのデメリットの説明が必要</li> <li>ユーザーニーズもあり注視すべき</li> <li>金額その他の条件に過大な差が生じていないか注視が必要</li> </ul>
MVNOによる追随の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>MVNOにおいても期間拘束プランを追従する機会が多く、差別化が難しくなっている</li> <li>収益の安定化やコスト回収の観点からは有用</li> </ul>
上記以外の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>MVNOがMNOと差別化ができるポイントとなっている</li> <li>更新月案内により状況は改善</li> <li>MVNOへの影響はない</li> </ul>

## ○ 中古スマートフォンの普及

項目	回答の内容
MVNO事業に与える影響について	• ユーザの選択肢が拡大し、好影響
	• 端末機能の進化や低価格なSIMフリー端末の普及を考えると、影響はそれほどない
	• 端末の値崩れ、販売利益の減少を懸念
	• 新端末の製造減少のおそれ
	• 故障時対応に伴う混乱を懸念
中古スマートフォンの普及に必要な事項	• 取引市場の活性化
	• MNO下取り端末の国内中古市場への流通促進
	• MNOによる端末下取り施策、価格の見直し
	• SIMロック解除の更なる推進
	• 消費者理解
	• 商品状態の算定基準、ランク制度の確立
	• 中古端末に対する保障サービス
	• 緊急通報やETWSの仕様に関する情報公開
	• 古物商申請の簡略化

## ○ 端末代金の値引き・キャッシュバック

項目	回答の内容
MNOによる端末代金の値引き・キャッシュバック等について	• 実際の価格、料金構造がわかりづらい、MVNOの料金との比較が困難
	• MVNOでは対抗困難
	• ユーザーの流動性を阻害
MVNOによる端末代金の値引き・キャッシュバック等について	• 影響/問題なし
	• 途中解約時の残債支払金などユーザへのわかりやすい説明を義務づけるべき
	• ユーザーの流動性を阻害
	• MNO関連MVNOによる価格設定、品質、営業サポート等は不公平な競争を引き起こすおそれ
	• 過当競争を引き起こすおそれ
共通的課題	• 影響/問題なし
	• 大量のロットを抱えることとなり、MVNOでは実施困難
	• 事業者の差別化につながる
	• 一定の規律・水準のもとで行われるべき

## ○ その他の意見

項目	回答の内容
MNOに比べてMVNOが競争上不利な点等	• 5Gやe-SIMなどの新技術を用いたサービスの先行提供
	• 半黒SIMの期間制限
	• 電波調査の実施、弱電界時の対応
	• 端末購買力
	• 価格や端末の選定等に制約があり、MVNOとして独自性を出すことが困難
	• SIMカードを自己調達できないため、貸与に係る料金が負担
	• iPhoneにおけるAPNの自動設定

項目	回答の内容
MVNOの普及を更に促進するに当たっての課題/方策	• MNO、サブブランド/関連MVNOとの住み分け、安さ以外の価値の提示
	• 050IP電話からの緊急電話等の制限撤廃
	• MNO-MVNO間の協業の推進
	• 音声卸料金の見直し
	• 卸電気通信役務の提供に対する規制
	• MVNOに対する認知向上
	• 消費者の理解向上に向けて規制によらない取組が必要
	• 税額控除、設備投資費用の補助等の支援
	• 訪日外国人向けSIMについて、MNOから提供されるSIMカードではマルチSIM等にコスト面で対抗できない
	• MVNE事業者の収益性向上
	• MNOのネットワーク部門とサービス部門の分離
	• MNO-MVNO間のサービスオーダー連携機能の更なる推進
	• MNO間の接続料格差の是正